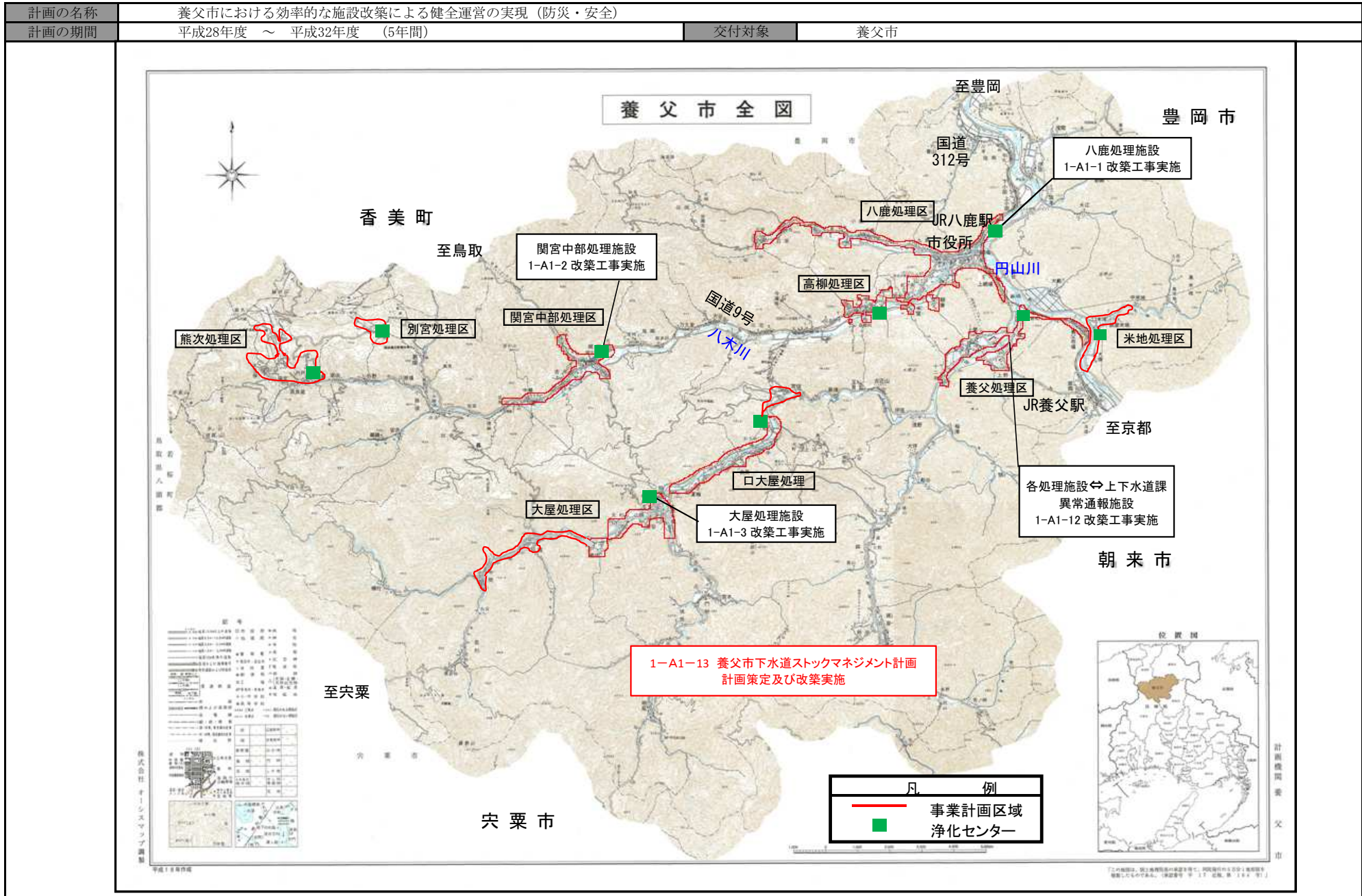


社会資本総合整備計画（水の安全・安心基盤整備）（防災・安全）

平成28年12月12日

計画の名称										養父市における効率的な施設改築による健全運営の実現（防災・安全）										重点計画の該当					
計画の期間										平成28年度～平成32年度（5年間）					交付対象					養父市					
計画の目標										下水道施設の適正な維持管理を行い、更に予防保全型事業運営に移行する為、施設の改築計画を策定し、効率的な改築を進めることで、安全・安心、快適な暮らしの実現、良好な水環境を創造する。															
計画の成果目標（定量的指標）										①改築計画に基づく処理施設の改築工事の実施を、対象処理施設8施設の内、2処理施設は着工済みであるが、本計画期間内に4施設の着工をし、改築工事の着工率を25.0%（H27）から75.0%（H32）に増加させる。 ②改築計画に基づく異常通報施設の改築工事の実施を、本計画期間内に完了し、改築実施率を0%（H27）から100%（H32）に増加させる。 ③持続可能な下水道事業の実施を図るため、「ストックマネジメント計画」を策定し計画的かつ効率的な長寿命化対策を行う。															
定量的指標の定義及び算定式										定量的指標の現況値及び目標値					備考										
										当初現況値 (H28当初)		中間目標値 (H30末)		最終目標値 (H32末)											
①処理施設の改築工事着工率 改築計画に基づく改築工事の対象処理施設6（施設）／改築計画に基づく改築工事の対象処理施設8（施設）										25.0%		-		75.0%		・削除した施設の改築計画は、ストックマネジメント計画で実施する									
②異常通報装置の改築工事完了率 改築計画に基づく改築工事の対象施設1（施設）／改築計画に基づく改築工事の対象施設1（施設）										0.0%		100.0%		100.0%		・削除した改築工事はストックマネジメント計画策定後、新計画に基づき実施する。									
③下水道施設のストックマネジメント計画策定率 ストックマネジメント計画を策定する事業計画数1（計画）／ストックマネジメント計画を策定する事業計画数1										0.0%		100.0%		100.0%											
全体事業費		合計 (A+B+C+D)		588.0 百万円		A		588.0 百万円		B		0百万円		C		0百万円		D		0百万円		効果促進事業費の割合		0.0%	
交付対象事業																									
A1 下水道事業																									
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名		事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	個別施設計画 策定状況	備考						
												H28	H29	H30	H31	H32									
1-A1-1	下水道	一般	養父市	直接	-	汚水	改築	八鹿処理施設 改築工事実施		水処理・汚泥処理設備改築	養父市						85.0	策定済	長寿命化						
1-A1-2	下水道	一般	養父市	直接	-	汚水	改築	関宮中部処理施設 改築工事実施		水処理・汚泥処理設備改築	養父市						70.0	策定済	長寿命化						
1-A1-3	下水道	一般	養父市	直接	-	汚水	改築	大屋処理施設 改築工事実施		水処理・汚泥処理設備改築	養父市						68.0	策定済	長寿命化						
1-A1-12	下水道	一般	養父市	直接	-	汚水	改築	異常通報施設 改築工事実施		異常通報装置改築	養父市						35.0	未策定	長寿命化						
1-A1-13	下水道	一般	養父市	直接	-	汚水・雨水	改築	養父市下水道ストックマネジメント計画		計画策定及び改築実施	養父市						330.0	未策定	ストックマネジメント						
小計（下水道事業）																	588.0	-							
合計																	588								
B 関連社会資本整備事業																									
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名		事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考								
											H28	H29	H30	H31	H32										
合計																									
番号	一体的に実施することにより期待される効果																				備考				
C 効果促進事業																									
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名		事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考								
											H28	H29	H30	H31	H32										
合計																									
番号	一体的に実施することにより期待される効果																				備考				
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																									
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名		事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考								
											H28	H29	H30	H31	H32										
番号	一体的に実施することにより期待される効果																				備考				

(参考図面)



事前評価チェックシート

計画の名称： 養父市における効率的な施設改築による健全運営の実現（防災・安全）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性	
①上位計画等との妥当性	
I. 目標の妥当性	
1) 上位計画（総合計画、生活排水処理計画、都市計画等）との整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性	
2) 下水道の諸計画との整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性	
②地域の課題への対応	
I. 目標の妥当性	
1) 地域の課題を踏まえて目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性	
2) 必要性という観点から事業内容、整備箇所の位置づけが高い。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と定量的指標の整合性	
II. 計画の効果・効率性	
1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
④定量的指標の明瞭性	
II. 計画の効果・効率性	
1) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性	
⑤目標と事業内容の整合性	
II. 計画の効果・効率性	
1) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
2) 目標及び事業内容と計画区域等との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
⑥事業の効果	
II. 計画の効果・効率性	
1) 十分な事業効果が確認されている。	○

